



運営協議会だより No. 5

平成 26 年 10 月 31 日

代表：津吹一晴

校長：赤沼保江

地域との連携・活動についての報告

地域協働学校として相応しい活動が、準備段階の現在でもさまざまな形で行われております。最近の活動についての報告がありました。

①一中祭（10月18日開催）

おやじの会よりやきそば、フランクフルトの提供、本校PTAより喫茶室、バザーの開催があり、それぞれ列を成すほどの盛況ぶりでした。

②地域レクリエーション（10月19日開催）

一中・三中の生徒会が中心となって、運営・企画されています。生徒、学校、地域の協力のもと、天候にも恵まれ、三中にて盛大に行われました。地域協働学校、準備校が増えてから、各人の意識が改善され、参加者数が増えているそうです。

③道徳授業地区公開講座（10月22日開催）

ホロコースト協会より杉原千畝さんに関するお話を伺い、その後グループディスカッションをしました。地域から18名の方がゲストティーチャーとしてグループに一人ついて下さり、いろいろなお話をしてくださったり、質問に答えてくださったりして有意義な時間を過ごすことができました。協議会委員からも数名、ゲストティーチャーに一役買っていただきました。

④図書ボランティア

今年度は7名のお母様方のボランティアが集まりました。本の紹介や、ネオタイムのお手伝い等をお願いする予定です。



3年生グループ面接

平成27年度は、都立高校の推薦入試に集団討論が導入されることもあり、従来の個人面接練習に加えて、今年度初の試みとして地域の方が面接官となって、3年生のグループ面接をご指導頂きます。受験を控えた3年生に、自己表現の方法、適切なマナー、態度を学んでもらいます。協議会にて、実施に向けた具体的な検討、活発な意見交換がなされました。今回は協議会委員が中心となって面接官になる予定です。

赤沼校長にこの集団面接のねらい、津吹会長に新しい試みに対する意気込みをお伺いいたしました。

個人面接練習では志望校を問う等、具体的な質問をしていきますが、この集団面接練習はそれとは違って、一緒に受け答えする他の生徒の意見も参考にし、自分の意見を自分の言葉で表現する力や、入退室する時、返事をする時等の基本的なマナーを養っていくということをねらいとしています。（赤沼）

NPOの資格発行で面接の経験があります。他にも社員採用の面接等、協議会委員には経験のある方が沢山いらっしゃいますので、皆楽しみにしています。生徒の皆さんにも面接という場に慣れてもらえるように、いろいろなアドバイスしたいと思います。よろしくお願いいたします。（津吹）